

Ripple

2011年3月の東日本大震災発生直後から、エスコープ大阪、生活クラブ都市生活(以下、都市生活)、NPO法人都市生活コミュニティセンター(以下、TCC)は独自に支援やカンパをおこない、同年9月には3者協働の「東日本大震災支援プロジェクト(以下、支援PJ)」を結成し、活動を開始しました。阪神・淡路大震災の経験を踏まえながら、現地に寄り添った形で被災地の支援活動をおこなってきました。東日本大震災から丸6年が経過し、支援のあり方も変わってきたことから、2016年度をもって支援PJの活動を終えることとしました。これまでの被災者支援の報告と今後の支援についてお知らせします。(報告:組織担当常務理事 山田 智巨)

東日本大震災発生から6年 支援のこれまでとこれから

震災を忘れない 支援活動報告



2月21日(火)、西宮市市民交流センターにて、「東日本大震災支援活動報告会」を開催しました。報告会前半は、支援PJで取り組んできた県外避難者の方々の交流の場としての「リフレッシュカフェ」、見えない不安から少しでも解放され子どもを放射線被ばくから少しでも遠ざける保養のための「リフレッシュツアー」、福島県新地町の仮設住宅での「青空市」への物資の提供や現地でのお手伝いについて報告しました。後半は現地からゲストをお招きし、被災地の状況の変化や、被災地に暮らす人の意識の変化についてお話ししていただきました。

「生活クラブふくしま」組合員の横山みよしさんは、津波被害が大きかった新地町在住です。新地町は家屋の再建は早かったものの、三世代が一緒に暮らしていた家族が離れ離れの暮らしになったり、お年寄りが独居になってしまったりと、かつてあったコミュニティが再建されていないという報告がありました。「生活クラブふくしま」理事の仲江望美さんからは、甲状腺検査について、また福島第一原発事故が福島の生きる人々にもたらしたものについてなど報告がありました。事故直後の甲状腺検査は小学生は学校で実施され、未就学児は市の施設で集団検診となり流れ作業のような検査で、本当に検査できているのかと不安があったそうです。2、3回目の検査では少しずつ良い環境で行われるようになり、現在は2年に1度の検査で結果に関しても、これまでの比較欄があったり、詳細が記載されわかりやすくなったそうです。原発事故により、それまでの当たり前前の生活が当たり前でなくなるといふ、変わりようを改めて実感しました。



「生活クラブ栃木」理事長の伊藤三保さんからは、栃木県の放射線による被害について報告がありました。セカンドオピニオンで甲状腺検査を希望する方が多いこと、また、栃木県は森林が多く、除染も手付かずのところが多くあるとのこと。県北では甲状腺検査をおこなっている自治体があるが、震災後甲状腺に影響があるヨウ

素が流れた県南では希望者だけにしかならなわれないこと、震災当時の中高生の継続検査の重要性について報告がありました。生活クラブが共に支援活動をおこなっている「一般社団法人 共生地域創造財団」事務局長の多々良水さんは、「かたよつてもより支援が届く活動」をめぐり、岩手県大船渡市で在宅被害者の方に特化した1軒1軒訪問する支援や、新しい取り組みとしては就労支援、またお互いさまの関係をつくり現地と一緒に事業をおこなっています。復興だけではなく新たな共生をめざし、実現している報告がありました。

エスコープ大阪は 現地に寄り添った 支援を継続します



私たち支援PJの活動が継続できたのは、多くの組合員のカンパ金拠出と支援活動への参加があったからです。支援PJは役割を終え、今後はそれぞれの団体が被災地との関わりを持ち、継続した支援をおこなっていきます。現地の報告を受け、改

めて支援を継続する必要を感じ、決して風化させることなく被災地支援の思いをつないでいくことの大切さを感じました。エスコープ大阪では、生活クラブ連合会とともに支援活動をすすめる、8月に福島・栃木の親子を対象にした「リフレッシュツアー」を実施します。

生活クラブ連合会
「東日本大震災
第7次カンパ」
にご協力ください

3月4回(11週)から5月2回(18週)までの注文書の注文番号記入欄に申込口数を記入して下さい。1口500円で何口でも申し込めます。
注文番号 **295639**
共同購入代金と一緒に引き落とします。

食べて現地に思いをこめよう



私たちの民衆交易

2015年度のネグロスツアーに参加し、2016年度ネグロスツアー実行委員を担った南河内地域委員の木村恭子さんが民衆交易の歴史について説明しました。

フィリピンは1565年からスペインの植民地支配下にあり、1855年からネグロス島での砂糖産業が始まりました。ネグロス島の大多数の人は土地なし労働者としてプランテーション農場で働きました。この構造は現在まで150年以上変わっていません。1898年の米西戦争の末、アメリカ合衆国の支配下となり、アメリカはフィリピンの砂糖産業に対して特恵関税制度を設けて30年間、国際相場よりも高い値段で砂糖を輸入しました。最盛期にはネグロスの農地の80%がサトウキビ畑だったそうです。

ところが、この特恵待遇が1974年に終止符が打たれ、フィリピンは輸出市場を失いました。さらに国際砂糖相場の大暴落が追い打ちをかけ、砂糖労働者は失業し、14万人以上の子どもたちが飢餓に苦しんでいる。ユースが世界中に流れました。この飢餓は天災などではなく、他国の政策と砂糖という単一の農作物を生産する農業形態や社会構造による人為的なものでした。

これを知って1986年に「日本ネグロス・キャンペーン委員会」が緊急援助を目的として発足。栄養失調に苦しむネグロス島の子どもたちのために、食料・衣料品を送り援助するキャンペーンが始まりました。エスコープ大阪(当時の泉北生協)もキャンペーンの主旨に賛同し、募金活動などをおこなっています。しかし、まもなく飢餓のどん底にあった砂糖労働者のリーダーが訴えます。



木村さん

「自分たちに必要なのは、魚ではなく、魚を穫る網です」。

これは、「自分たちの食べるものを自分たちでつくりたい」というネグロスの人々の自立に向けた想いでした。日本ネグロス・キャンペーン委員会は活動の軸を自立農業へ向けた支援へ移し、1987年に伝統的製法による黒砂糖(マスコバト糖)の輸入を開始。これが民衆交易のきっかけとなり、新たな交易品として、ネグロス島の環境や人々の暮らし、地域経済に悪影響を与えない、地元ではほとんど市場流通されず自生していたバラゴンバナナをネグロスの人々の自立の道具として使う取り組みが始まりました。



2016年 ネグロスツアー報告

生活クラブ関西6生協では、バラゴンバナナを取り扱い開始の1990年代の半ばから産地訪問ツアーが始まり、2014年からは6生協で共催のツアーを「お互いを知り、知らせる交流」として実施しています。2016年のツアーに参加したエスコープ大阪職員の緑川誠士さん(共同購入フロアマネージャー)がツアー報告をしました。



緑川さん

今年、栽培からパッキング(梱包)までを通して知ることで、参加者も植え付けや収穫、そしてパッキングまでひと通り体験しました。バナナはバンチ(ひと房)10kgほどあり、担ぐだけでも重労働。険しい山道を人力で運ぶ生産者もいます。

すでに養豚や野菜栽培などをおこない有畜複合農業を実践している生産者も出始めているようですが、今後チャレンジしたいと話されていた生産者もいて、取り組みが広がっている様子を知ることができました。

材料はすべてPeople to People! バレンタインチョコを作りました



野川さん

APLAの野川さんに民衆交易の「パプアの力カオマスとココアバター」「ネグロスのマスコバド糖」を使ってのチョコレートづくりを教えてくださいました。力カオマス、ココアバターを包丁で刻むところから始まり、コンチング(じっくり練る)、テンパリング(温度を上げたり下げたりして力カオバターを細かい粒子に結晶させ安定させる)していきます。仕上げには「バラゴンバナナ」で作ったチップをトッピング!

チョコレートを冷やし固める間に野川さんからAPLAの民衆交易活動についてお聞きしました。APLAでは、ネグロス島の人たちがバラゴンバナナ栽培を基盤に有畜複合農業をおこない、農民と

して自立できるよう現地にも入ってサポートしています。また、アフリカの力カオの原産国では児童労働や環境破壊などの問題があり、APLAはインドネシアのパプア州で先住民族が力カオを自分たちで生産・加工する民衆交易事業をサポートしています。「他国の国土や人の資源から生み出されるモノの背景も考えることは大切。気持ちを贈り合うバレンタインのチョコも作る人も贈る人も食べる人もみんながハッピーなものであってほしい」と話されています。



民衆交易の『東ティモールコーヒー』を飲みながら…



参加者感想

- チョコを作るだけでなく、その背景も教えていただき、子どもだけでなく私も勉強になりました。
お子さんの感想: 楽しかったし、おいしかったです。勉強にもなったので良かったです。
- モノを買うだけでなく、どういう人が作っているのか知りあうことが本当に大事だなと感じました。
- 「民衆交易」という言葉を知り、考えるきっかけになりました。

バナナチップの作り方

- ①バラゴンバナナを3mm厚にスライスします。
- ②オープン皿か網にオープンシートを敷き、その上に①を並べます。
- ③130℃のオープンで30分焼きます。オープンに入れたまま冷まして出来上がり。



バラゴンバナナを登録して食べよう



定期登録
できます

バラゴンバナナ
1kg

(1本100g~150gが目安)



定期登録
できます

バラゴンバナナ
1.5kg

	1kg	1.5kg
カタログ注文	546円 (税込590円)	804円 (税込868円)
定期登録	536円 (税込590円)	789円 (税込852円)

【定期登録について】
☆月1回から毎週でも、届く数量も決めることができます。
☆登録申し込み・変更は、配達2週間前の配達曜日まで。

APLA/あぷら 紹介

日本ネグロス・キャンペーン委員会の経験を踏まえ、日本を含むアジア各地で「農を軸にした地域自立」をめざす人々が出会い、経験を分かちあい、協働する場をつくり出すことを目的に、民衆交易の運動をすすめる「特定非営利活動法人APLA」が2008年に発足しました。民衆交易の事業を主にすすめる「(株)オルター・トレード・ジャパン(ATJ)」と力を合わせて活動を展開しています。

APLA/あぷら ホームページ <http://www.apla.jp/>



消費委員会 『竜おうみ米』 取り組み

消費担当理事 池田 佳子

生活クラブ関西6生協で、関西圏での主産地形成に取り組み始めて6年目になりました。滋賀県竜王町で農薬や化学肥料を減らし、環境に配慮して作られている『竜おうみ米』を中心に、生産者と共に食料基地づくりを進めています。「竜おうみ米の存在をもっと知ってもらおう!」「食べることが食料基地づくりの取り組みにつながることを知ってもらおう!」「お米の栄養やおいしさ、お米を食べることの大切さを知ってもらおう!」と、各地域で企画を開催しています。

南河内地域
理想の朝ごはん
2月1日(水)
藤井寺市民総合会館
(藤井寺市)
南河内地域理事 梶川 愛



毎朝忙しい皆さんへ、とにかく簡単!で毎朝無理なく作り続けることができる、「一汁一菜」の朝ごはんを提案しました。

参加者全員で、『竜おうみ米』を鍋で炊きました。味噌汁は、自由に消費材の煮干し、昆布、鰹削り節、混合削り節、『パックだし』から選んでだしを取り、具材は『ウインナークラブ』の豚肉、『旬菜セット』の冬野菜、『豆伍心』さんの『絹ごし豆腐』と『うすあげ』から選んで具だくさんな味噌汁を作りました。

はんにはおいしさも栄養もかきません! 日本人の底力はごはんを食べてこそ(笑)。「ごはんをお鍋で簡単に炊けるのにびっくり!」「お味噌汁は煮干しと昆布のおだしがおいしかったね」と、そんな話しながら、ベテラン主婦の方から普段の食生活について教えてもらったりと、少人数ならではのアットホームな交流ができました。

河内長野・大阪狭山地域
竜おうみ米で作る 巻き寿司講習会
1月21日(土)
河内長野市立市民交流センターキックス
(河内長野市)
河内長野・大阪狭山地域理事 糸川 江里子

河内長野・大阪狭山地域理事 糸川 江里子

節分を前に、ひと足早く巻き寿司を作ろう!と料理講習会を開催しました。お米はもちろん、『竜おうみ米』。『竜おうみ米』が寿司飯に合うのは生産者と組合員からのお墨付きです。調理の前に、竜おうみ米をよく知ってもらいたいと、生産者や生産地の紹介、竜おうみ米だからこその特徴、そして生産者と組合員の交流について伝えました。また、私たちの目指す主産地形成についてお話をすると、参加者の皆さんは熱心に耳をかたむけてくれました。



今回の講習会では、お肉入りの洋風巻き寿司がおいしかったという感想があり、和風洋風どちらにも合う『竜おうみ米』の魅力を知る良い機会になりました。

店舗地域 まめごころ (株)豆伍心訪問

2月19日(日) (大阪府高槻市)

店舗地域理事 齊藤 真由美



エスコープ本部を出発し生協車で走ること約1時間、住宅街の中にある「(株)豆伍心」の工場に到着しました。まずは専務取締役の樽谷修孝さんから、豆伍心の設立から現在に至るまでの過程と豆腐の製造工程についてお聞きし、その後、大豆倉庫を見学しました。1年以上倉庫の

揚げ油はすべて消費材の「なたね油」を使っていた

中で保存することになるので、室温が上がりやすい倉庫の中では25℃を超えるとクーラーをつけ温度管理をしています。

て出来上がる時の計3回、手作業で泡を取り除くことで、消泡剤を一切使用することなく豆腐を作っていました。

着替え、工場内を見学しました。浸水した大豆を煮ると泡が出てムラ炊きになるので一般的に消泡剤が使われることが多いです。しかし豆伍心では、ゆつくりと火を入れて炊くことで、「豆乳を絞った時」「にがりを入れる前」「攪拌し



今回は、『うすあげ』の手揚げ体験をさせてもらいました。豆伍心のあげ類はすべて、手間をかけ人の手で揚げていることに驚きました。揚げ油はすべて生協クラブの「なたね油」を継ぎ足しながら使っており、油抜きをしな

くてもいい意味も納得しました。豆伍心の豆腐は、原材料が大豆と天然にがりのみ。風味を損ねないために包装してから熱を加えない生豆腐、あげもの類にまで天然にがりを使っているものは市販品にはほとんどないなど、安心・安全でおいしいものを作りたという熱意とこだわりがひしひしと伝わってきました。豆伍心の豆腐を利用したことがなかった参加者から「これからは利用したい」との声があり、有意義な訪問となりました。まだ豆伍心のことを知らない組合員の方にも、今回知り得たことなどを伝えていこうと思えました。

紹介します!! うちの地域の 組合員さんです

探していたものがここに!!

高塚 潤子さん [南河内地域]



消費材を試しに利用してみても自分のお気に入りを見つけ、質問や疑問があれば直接生協に問い合わせたりしているそうで、組合員生活を有意義に過ごされています。

組合員になってまだ月日は浅いですが、消費材をとっても気に入って利用している高塚潤子さんをご紹介します。

加入のきっかけは、安全な豆腐を探している時にお友だちがエスコープ大阪を教えてくださいましたので私と同じ班で利用していただきましたが、多忙なため現在は個配を利用されています。加入当初は、組合員歴の長い私に消費材などについてよく質問をされていました。今ではいろいろな

お気に入りの消費材は、卵と豆腐と豚肉。「安全な野菜や卵、お米をあちこちで探していたので、ひとまとめに注文ができて、個配もとても便利で、毎日買い物に行く時間の無駄がなくなり加入して良かったです」と喜んでおられます。また、高塚さんがお友だちに消費材について話すと、自然と加入に繋がりが嬉しい輪が広がるそうです。

良い食材を探していた時に夕イミングよくエスコープ大阪と出会い共感され、すぐに上手に活用していただけることがとても嬉しいです。育ち盛りの子どもたちに健康な食生活をさせたい思いは同じだと思いました。

聞き手 梶川 愛(南河内地域理事)

チャレンジ野菜の 目合せ&評価

白ねぎ

今年度取り組んだチャレンジ品目の「白ねぎ」を届けたい皆さんにアンケートで目合せに参加していただきました。配布数499枚のうち、134枚を回収し、結果は下表のようになりました。

2017年度もチャレンジ野菜に取り組み予定です。今回は、春夏野菜でのチャレンジ野菜について報告します。

私たちの 『旬菜セット』はね...

価格は妥当である評価を確認した上で、生産原価を確保し、再生産可能な価格を生産

防除:無農薬 有機肥料 規格:約300g(2本~) 価格:203円(税込)

価格	安い 37	普通 89	高い 4	無回答 4
味	美味しい 105	普通 24	美味しくない 1	無回答 4
	多い 12	少ない 2	丁度いい 117	無回答 3
土付き	取る 11	取らない 118		無回答 5
	全部残す 78	半分残す 2	生産者 52	無回答 2

私たちのエネルギーを考える!



住吉川小水力発電所をつくる



2月4日(土)に東灘区民センター(神戸市)で開催された「住吉川小水力発電所を作ろう!」と題したセミナーに参加しました。

住吉川は神戸市東部、東灘区のほぼ中央を流れ、いくつもの溪流を集めて南下し大阪湾へと注ぐ二級河川です。生活クラブでは2015年に「地域小水力発電(株)」代表取締役の古谷桂信さんに話を伺い、私たち生活クラブ連合会として住吉川での小水力発電事業開発の可能性について調査を始めています。

昨年5月に地元住民である生活クラブ都市生活の組合員が中心となり、「住吉川小水力発電所を実現する会」を発足しました。これまでに生き物観察会や学習会などですら、岡山県西粟倉村小水力発電所の視察や住吉川の草刈りボランティアには、エスコープ大阪の組合員も参加しました。地域のいろいろな団体の方々と繋がり、今回も住吉川歴史資料館の内田雅夫さんより「住吉川の水車の歴史」についてお話を伺いました。



が豊富なので、昔はたくさんのお水車があり、水車を使った灯油、酒米の精米、精粉が栄えたそうです。江戸後期から大正初めにかけては石臼約1万個、約100輛の水車が稼働し、最後の水車は昭和54年まで動いていたそうです。水路や水車場は生活を潤し、また大きな工場がない時代にこの水車で住吉は日本一の工場地帯だったそうです。自然の水と人間、牛や馬が一緒になり、今で言うエコな産業をつくってこられた所であることを知りました。内田さんは歴史も踏まえ、また地域住民として「住吉川を利用していただいていたうれしく思う」と話されました。

古谷さんからは、「小水力発電の可能性と住吉川小水力発電計画」についてお話を伺いました。小水力発電は明治後期に盛んで地域住民のものだったようですが、戦争で国に接収され、戦後は電力会社のものになったそうです。太陽光発電の寿命は約20年と言われますが、小水力は100年以上

上もつものもあるそうですが設備寿命は50年前後とのこと。参加者からは「歴史も伺いロマンを感じた。活動を一緒に取り組めたら」(東灘区まちづくり課)、「賛同している。住吉川で植林や整備をしているが森を守る取り組みを一緒にしていきたい」(兵庫県勤労者山岳連盟)、「昨年小水力をすすめることを決め、現在13団体から(すでに実施含め)申請がある。現代の水車として復活しよう。温暖化で降雨の極端化があること、住民に受け入れられる計画に配慮が必要」(兵庫県温暖化対策課)などエールをいただきました。

関西の地元で、「電気をつくる」ことができることをとてもうれしく思います。まだ決定はしていませんが、電気をつくることから考えることはとても大切なこととあり大切な経験だと思えます。私たちエスコープ大阪もこれから積極的に関わりすすめていきます。

(理事長 岡公美)

第9回 理事会報告 <2月24日>

【1月度決算報告】

- 供給高 2億1,148万円 (前年同月比92.36%)
- 組合員数 18,609名(前月比10)
- 一人あたりの出資金 80,492円

【1月の放射能検査結果】

1月は連合消費材770検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①役員推薦委員の決定について提案があり、決議しました。
- ②総選考の実施について提案があり、決議しました。
- ③情報開示規則の制定について提案があり、決議しました。

【協議事項】

- ①中期計画策定の進め方・スケジュールについて提案があり、協議し、確認しました。
- ②2017年度予算について提案があり、協議し、確認しました。
- ③常務理事会への委任・委譲の範囲について提案があり、協議し、確認しました。
- ④「せっけん運動ネットワーク」からのアンケートについて、エスコープ大阪の意見回答について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑤2017年度 全地域委員会統一取り組みの再確認について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑥2017年度「エスコープ・フェスタ」(仮)の実行委員会体制について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑦2017年度 組合員組織体制について提案があり、協議し、確認しました。
- ⑧組合員活動の追加予算申請について提案があり、協議し、確認しました。

【報告承認】

- ①大阪府による定期検査の結果とその対策について、確認しました。
- ②「一般社団法人 市民セクター政策機構」の理事就任について、確認しました。
- ③組合員活動の追加予算と予算外執行について2地域から報告があり、確認しました。
- ④組合員活動の予算オーバーについて確認しました。

編集後記

4月は各地域で春みそ作りが開催されます。秋みそ作りにはたくさんの申し込みがありますが、春みそは少なめです。春みその方が出来上がりまでの期間が短いのが特徴です。手作りみそは毎年、気温や湿度、熟成期間によって出来上がりはさまざまですが、やっぱり手作りみそは「おいしい!」の一言につきますね。(H)

発行:生活協同組合エスコープ大阪
制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151 堺市南区小代727
TEL. 072-293-4660
FAX. 072-341-0022
http://s-osaka.seikatsuclub.coop/

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

169号表紙

「私たちの生活からマイクロプラスチックは生まれている」を読んで

紙面モニター Aさん

日々の生活の中でマイクロプラスチックを目にすることがなく、どのように被害を受けているのか実感がありませんが、読んでみると「使わないこと、分別すること、リサイクル・リユースすること」の大切さを改めて感じました。スーパー等でもこういった取り組みが増えればと思いました。

169号3面

「紹介します うちの地域の組合員さんです」を読んで

紙面モニター Bさん

お母さんが組合員で幼い時からエスコープの消費材で育ったという姉妹が共にエスコープに加入されたという記事に、食べる物を大事に考え、安心・安全にこだわって育てられたお母さんの思いがしっかり受け継がれているんだなあと思えて嬉しく読ませて頂きました。



エコロ制度 1月度報告

加入者数 1114名

組合員活動を支えるためのケア	3件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	1件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	2件
リフレッシュのためのケア	3件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	1件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
4月13日(木) 10:00 ~ 12:00	ソフィア堺 (堺市街地地域)
4月12日(水) 10:00 ~ 12:00	大阪狭山市立コミュニティセンター (河内長野・大阪狭山地域)
4月18日(火) 10:00 ~ 12:00	さつき野東集会所 (南河内地域)
4月5日(水) 10:00 ~ 12:00	岬町望海坂第1集会所 (泉州地域)
4月4日(火) 10:00 ~ 12:00	和泉市コミュニティセンター (泉州地域)
4月11日(火) 10:00 ~ 12:00	ほーぶサロン (泉北NT地域)

*開催時間内であればいつでも、帰ってもOK
*組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

(ペンネームOK)

●お名前

●地域名

●班名

●組合員コード

理事会事務局行き
171号(2017.3.27)